

～『O!MORO TOWN』（障害者差別解消啓発イベント）を開催します～

横浜市では、障害のある人となない人の交流を通して、障害の理解を深め、対話による相互理解を大切にしながら、障害者差別解消の市民への啓発活動を行う取組“O!MORO LIFE プロジェクト”を平成 28 年度から実施してきました。

今後、このプロジェクトは、参加する市民が主体となって展開していくにあたり、このたび、これまでの歩みを振り返るとともに、今後の展開について市民の皆様に向けた発信イベントとして、「O!MORO TOWN」を開催します。

- 1 イベント名 『O!MORO TOWN』（障害者差別解消啓発イベント）
- 2 日時 平成 30 年 3 月 24 日（土）13:00～17:00、3 月 25 日（日）11:00～17:00
- 3 会場 BankART Studio NYK 2 階 2A gallery（横浜市中区海岸通 3 丁目 9）
- 4 内容（詳細は別紙チラシ参照）

会場を O!MORO TOWN（普段、様々な人が暮らすまちをコンパクトに再現したまち）に見立てて、日常生活の中で感じる困りごとや障壁（さまたげになるもの）への気づきの場や O!MORO なメンバーと一緒に楽しく乗り越える体験の場をつくります。

こうした体験を通して、障害を理解し、障害のある人の日常生活や障害のある人への必要な配慮を知り、今後の日常生活で一人ひとりが行動することができるようになることを目的としています。

プロジェクトに参加する市民による企画・運営です！

～プログラムの例～ ■五感で楽しむ公園

五感をフルにを使って遊ぶことで、いつもとは違う日常を発見できるはず！いつもより動きにくい外遊び、急げない早歩き、探しにくい宝さがしなど、大人も子どもも楽しめる公園遊びを用意してお待ちしています！

【ねらい】

視覚障害、車いす等の体験をしながら、いろいろな公園遊びを通して、様々なバリアを体感します。

※入場無料（一部プログラムで実費をいただく場合があります）

※手話通訳などが必要な場合は、事前に問い合わせ先にご連絡ください。

O!MORO には、「おもしろい」や「もろい」、「もろもろ」の意味が込められています。

～O!MORO LIFE プロジェクトについて～

障害者差別解消法施行に向けて、市の取組についてご検討いただいた横浜市障害者差別解消検討部会より、啓発活動について、「障害のある人と障害のない人が気軽な雰囲気の中で交流することができる機会を設け、その中で障害の理解を広げていくといった取組も有効」であり、「市独自の取組の実施」について提言をいただきました。

このプロジェクトはそれに応える試みです。多くの方々に関心や理解を深めていただくために、地域で継続的に市民主体の交流活動を展開し、その輪を市民の方々の方に広げていくとともに、障害のある人に適切な配慮ができる人の輪を市民の方に広げていくことを目的としています。

SNS等により参加を募り、計 10 回以上のワークショップやイベント等にのべ 200 人の方が参加し、参加者自らが、様々な“バリア”を乗り越えるためのイベント等の企画や運営を行っています。

お問合せ先

健康福祉局障害企画課長

山田 洋

Tel 045-671-3569